

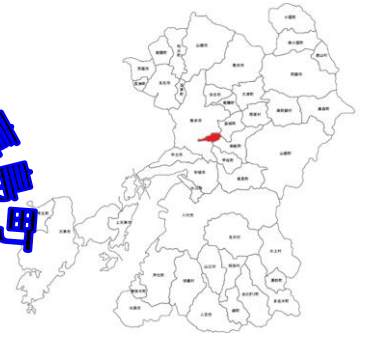
私たちの宝物

ろくかじんじゃのししまい

上益城郡嘉島町

六嘉神社の獅子舞

熊本県重要無形民俗文化財



嘉島町の六嘉神社は、

1300年前に創建

10月17日以降の最初の土曜日の例大祭の時に奉納される獅子舞は、昭和36年熊本県重要無形民俗文化財に指定された。

このまつりは加藤清正公の虎狩りに由来して無病息災と五穀豊穡を祈願して奉納されるもので、雄・雌2頭の獅子舞は勇壮です。

はしご登り

左右に大きく揺れる高さ20mの杉柱に雌雄の獅子が交互に登り舞を披露します。

また、獅子が梯子の上から縁起物のポタンの花を落とし、それを拾った人は1年間、無病息災・家内安全といわれています。

ポタンの花を落とすのは全国的にも珍しいものです。

玉使い

笛を鳴らし獅子を舞う大人たちに交じって、玉使いの園児、棒使いの小学生、太鼓を打ち鳴らす中学生と、子どもたちも一緒になって祭りを創りあげていきます。



縁起物のポタンの花



玉つかいの稚児と獅子

【地域の方々の声】

獅子舞の手割りは、雌雄2頭の獅子使い各2名を中心に、横笛・太鼓等の囃子が数名、獅子の相手役である獅子釣り、棒使いが数名、他総勢60余名ともいわれています。

六嘉の獅子舞は、古くから氏子が、町民の息災と、五穀豊穡の祈りをこめて伝承してきた貴重な文化財です。ぜひ、後世にも残していきたいですね。